
1日目 プログラム 5月9日(土)

第1会場(福岡国際会議場5階 国際会議室501)

12:30~13:00 **大会長講演：知る・わかる・行う・広げる、不器用さを「参加」につなぐ福岡の形**
座長：中島 卓裕(名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部)
講師：黒川 駿哉(子どもと親 こころの百年灯クリニック)
／慶応義塾大学医学部 医科学研究連携推進センター)

13:10~14:10 **基調講演：DCD 児への支援の現状と今後の展望**
座長：黒川 駿哉(子どもと親 こころの百年灯クリニック)
／慶応義塾大学医学部 医科学研究連携推進センター)
講師：岩永 竜一郎(長崎大学生命医科学域)
／長崎大学子ども心の医療・教育センター)

14:20~15:20 **若手優秀演題発表**
座長：黒川 駿哉(子どもと親 こころの百年灯クリニック)
／慶応義塾大学医学部 医科学研究連携推進センター)

W-1. 就学移行期における DCD 特性が情緒・行動の問題に及ぼす影響に関する 前方視的検討

○藤澤 翠美花¹⁾、齊藤 彩²⁾、菅原 ますみ³⁾、中井 昭夫⁴⁾

- 1) お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- 2) お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系
- 3) 白百合女子大学人間総合学部
- 4) 武庫川女子大学 教育総合研究所／大学院臨床教育学研究科

W-2. 5歳の神経発達症児における実行機能と協調運動技能の関連性の検討

○秋山 郁菜絵^{1) 2)}、小枝 周平²⁾、三上 美咲²⁾、立花 怜³⁾、
坂井 未和^{2) 4)}、大里 絢子²⁾、齊藤 まなぶ²⁾

- 1) 秋田県立医療療育センター
- 2) 弘前大学大学院保健学研究科
- 3) 弘前大学医学部附属病院
- 4) 横浜市戸塚地域療育センター

**W-3. 自身の手の映像を利用した運動イメージ中の脳活動が個々人の運動イメージ
鮮明度や身体所有感・行為主体感と関連する：fMRI を用いた研究**

○藤原 謙吾¹⁾，入江 啓輔¹⁾，岩永 裕人¹⁾，松本 奈々恵²⁾，中井 隆介²⁾，
梁 楠¹⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端作業療法学講座
臨床認知神経科学分野
- 2) 京都大学 人と社会の未来研究院

**W-4. 発達支援センター初診利用児の感覚処理特性に基づくパターン分類
－4象限スコアを用いたクラスター分析－**

○楠本泰士¹⁾，鳥生貴子²⁾，高橋恵里¹⁾，高木健志³⁾，松田雅弘⁴⁾，
新田収⁵⁾

- 1) 福島県立医科大学
- 2) 児童発達支援センターつくしんぼ
- 3) 東京工科大学
- 4) 順天堂大学
- 5) アール医療専門職大学

15:30～17:00

シンポジウム I

DCDを知る・分かる：当事者、家族、支援者の視点からとらえる DCD 特性と支援
座長：北 洋輔（慶応義塾大学 文学部）

DCD の診断と支援ニーズの乖離を考える

古荘 純一（青山学院大学 教育人間学部／昭和医科大学 小児科、精神科
／あのねこどもくりにっく）

自閉スペクトラム症当事者から見た DCD

綿貫 愛子（東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究所）

DCD（発達性協調運動障害）とともに歩む日常

－身体の不自由さと、豊かな内面活動とのギャップを家族の視点から考える－
仲摩 沙織（福岡発達障がい者親の会「たけのこ」／福岡市発達凸凹研究室）

17:10～18:10

事例検討：このような事例どうしますか？

座長：柏木 充（市立ひらかた病院 小児科）

岩永 竜一郎（長崎大学生命医科学域

／長崎大学子どもの心の医療・教育センター）

事例 1：不安が非常に強い小学生男児の症例

松井 匠（医療法人桜十字 桜十字病院 リハビリテーション部）

事例 2：運動イメージ練習を含む課題指向型介入により逆上がりを獲得した

DCD を有する児の 1 症例－実験的手法による運動イメージ能力の変化－

橋添 健也（医療法人和光会 山田病院 リハビリテーション部

／畿央大学大学院博士後期課程）

第2会場（福岡国際センター 1階 研修室1）

14:30～15:20

一般演題Ⅰ

座長：宮地 泰士（名古屋市西部地域療育センター）

〇Ⅰ-1. 幼児の運筆能力評価：ペンタブレットによるなぞり書きと2本線間描画の比較

○奥村 安寿子^{1) 2)}，白川 由佳²⁾，藤原 美由希²⁾，松本 秀彦³⁾，
菊地 謙⁴⁾，諸藤 久和⁵⁾，北 洋輔²⁾

- 1) 広島大学大学院人間社会科学研究科
- 2) 慶應義塾大学文学部
- 3) 高知大学大学院総合人間自然科学研究科
- 4) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 5) シスネット株式会社ヘルスケア事業部

〇Ⅰ-2. 運動の不器用さがある自閉スペクトラム症児への理学療法による介入の一例

○加藤 将¹⁾，横井 摂理²⁾

- 1) 愛知県青い鳥医療療育センター リハビリテーション部
- 2) 愛知県青い鳥医療療育センター 小児科

〇Ⅰ-3. 短縄跳びの連続跳躍に困難を示す運動の不器用さを呈する学齢期のASD児に対して作業療法を実施した症例報告

○篠田 真衣¹⁾，鳥越 夕妃²⁾，大坪 光保¹⁾，田村 弥生子¹⁾

- 1) 社会福祉法人麦の子会 むぎのこ発達クリニック
- 2) 札幌市みかほ整肢園

〇Ⅰ-4. 神経発達症に対する学校理学療法の推進における課題とニーズに関する学校調査

○松永 甫^{1) 2)}，中井 昭夫^{2) 3)}

- 1) 大阪リハビリテーション専門学校
- 2) 武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科
- 3) 武庫川女子大学 教育総合研究所

第3会場（福岡国際センター 1階 研修室2）

14:30～15:20

ポスター発表Ⅰ

P-1. 日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査(JMAP)と Assessment for Developmental Abilities in Psychology and Physiology(ADAPP)の基準関連妥当性の検証

○石田 優真¹⁾，友永 倫人¹⁾，川中 奈都実¹⁾，樋口 詩乃¹⁾，村田 未悠

1)，

廣中 菜々子¹⁾，舩元 彩夏¹⁾，今村 明¹⁾，徳永 瑛子¹⁾，岩永 竜一郎¹⁾

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

P-3. 動機付けが低い児に対して CO-OP アプローチを用いた作業療法介入の一例

○堀 ゆい¹⁾，家室 和宏¹⁾

1) やまびこ医療福祉センター

P-5. 発達性協調運動障害傾向を有する児における VR 空間での座位リーチトレーニングの有用性－mediVR カグラの実行可能性と定量的指標の検討－

○黒木 雄大¹⁾

1) 株式会社 TUNAGU ADL plus

P-7. 成人 ASD/ADHD における発達性協調運動障害の既往：質問紙法による後方視的検討

○戸田 重誠^{1) 2) 3)}，大橋 裕¹⁾

1) 静岡県立こころの医療センター

2) 昭和医科大学医学部精神医学講座

3) 金沢大学 精神行動学

P-9. 発達年齢と課題難易度に乖離がある ASD 児の書字動作分析

○尾崎 由唯¹⁾，白水 麻美子¹⁾，堀川 周¹⁾，田代 徹¹⁾

1) 福岡リハビリテーション病院

P-11. 神経発達症がある成人の協調運動と感覚処理に関する日常生活活動の実態

○東恩納 拓也¹⁾，綿貫 愛子²⁾

1) 東京家政大学 健康科学部

2) 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所